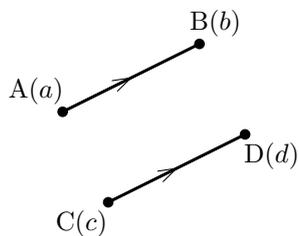


## 反射テスト 複素平面 平行・垂直・直線 01

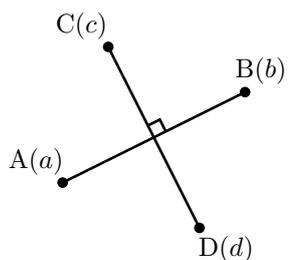
1. 複素平面上に点  $A, B, C, D$  がある. 点  $A, B, C, D$  を表す複素数をそれぞれ  $a, b, c, d$  とし, その共役複素数をそれぞれ  $\bar{a}, \bar{b}, \bar{c}, \bar{d}$  とする. 以下の幾何学的表現について, 複素数と共役複素数のみを用いて方程式を作れ.

( S 級 40 秒、A 級 1 分 10 秒、B 級 2 分、C 級 3 分 )

- (1)  $AB \parallel CD$



- (2)  $AB \perp CD$



2. 複素平面上に点  $A, B, C$  がある. 点  $A, B, C$  を表す複素数をそれぞれ  $a, b, c$  とし, その共役複素数をそれぞれ  $\bar{a}, \bar{b}, \bar{c}$  とする. 以下の幾何学的表現について, 複素数と共役複素数のみを用いて方程式を作れ.

(  $S$  級 30 秒、 $A$  級 50 秒、 $B$  級 1 分 20 秒、 $C$  級 2 分 )

(1) 点  $A$  が直線  $BC$  上

(2)  $\angle BAC = 90^\circ$

# 反射テスト 複素平面 平行・垂直・直線 01 解答解説

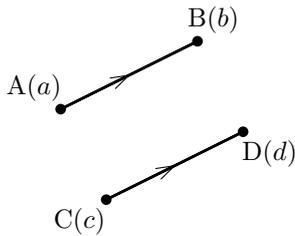
1. 複素平面上に点  $A, B, C, D$  がある. 点  $A, B, C, D$  を表す複素数をそれぞれ  $a, b, c, d$  とし, その共役複素数をそれぞれ  $\bar{a}, \bar{b}, \bar{c}, \bar{d}$  とする. 以下の幾何学的表現について, 複素数と共役複素数のみを用いて方程式を作れ.

(S 級 40 秒、A 級 1 分 10 秒、B 級 2 分、C 級 3 分)

以下, 便宜的にベクトル表現を使う.

$X(x), Y(y)$  に対して,  $\overrightarrow{XY} = y - x$  とする.

(1)  $AB \parallel CD$



題意から,  $c, d$  一致しないので,  $c - d \neq 0$

$$\star \text{ 平行 } AB \parallel CD \Leftrightarrow \frac{b-a}{d-c} = \frac{\bar{b}-\bar{a}}{\bar{d}-\bar{c}}$$

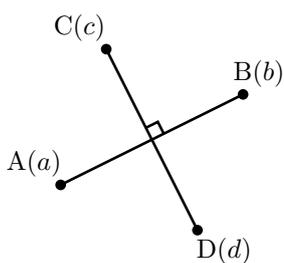
$$AB \parallel CD \Leftrightarrow (b-a) \parallel (d-c)$$

$$\Leftrightarrow \frac{b-a}{d-c} \text{ が実数 (商が } 0^\circ, 180^\circ \text{ の回転移動を表す)}$$

$$\Leftrightarrow \frac{b-a}{d-c} = \overline{\left(\frac{b-a}{d-c}\right)}$$

$$\Leftrightarrow \frac{b-a}{d-c} = \frac{\bar{b}-\bar{a}}{\bar{d}-\bar{c}}$$

(2)  $AB \perp CD$



題意から,  $c, d$  は一致しないので,  $c - d \neq 0$

$$\star \text{ 垂直 } AB \perp CD \Leftrightarrow \frac{b-a}{d-c} + \frac{\bar{b}-\bar{a}}{\bar{d}-\bar{c}} = 0$$

$$AB \perp CD \Leftrightarrow (b-a) \perp (d-c)$$

$$\Leftrightarrow \frac{b-a}{d-c} \text{ が純虚数 (商が } 90^\circ, 270^\circ \text{ の回転移動を表す)}$$

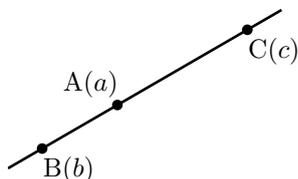
$$\Leftrightarrow \frac{b-a}{d-c} + \overline{\left(\frac{b-a}{d-c}\right)} = 0$$

$$\Leftrightarrow \frac{b-a}{d-c} + \frac{\bar{b}-\bar{a}}{\bar{d}-\bar{c}} = 0$$

2. 複素平面上に点 A, B, C がある. 点 A, B, C を表す複素数をそれぞれ  $a, b, c$  とし, その共役複素数をそれぞれ  $\bar{a}, \bar{b}, \bar{c}$  とする. 以下の幾何学的表現について, 複素数と共役複素数のみを用いて方程式を作れ.

(S 級 30 秒, A 級 50 秒, B 級 1 分 20 秒, C 級 2 分)

- (1) 点 A が直線 BC 上



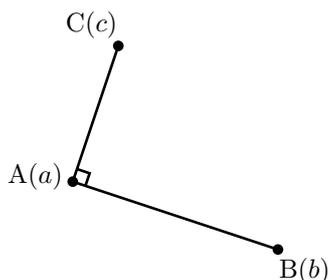
題意から,  $b, c$  は一致しないので,  $c - b \neq 0$

★ 平行  $AB \parallel BC \Leftrightarrow \frac{a-b}{c-b} = \frac{\bar{a}-\bar{b}}{\bar{c}-\bar{b}}$

よって, 次の公式を導くことが可能になる.

★ 直線の方程式 点 Z が直線 AB 上にある  $\Leftrightarrow \frac{z-a}{b-a} = \frac{\bar{z}-\bar{a}}{\bar{b}-\bar{a}}$

- (2)  $\angle BAC = 90^\circ$



題意から,  $a, b, c$  はどれも一致しないので,  $(c-a)(b-a) \neq 0$

★ 垂直  $AB \perp AC \Leftrightarrow \frac{c-a}{b-a} + \frac{\bar{c}-\bar{a}}{\bar{b}-\bar{a}} = 0$

☆補足 もし左図のように A, B, C が配置されているならば,

$$\arg \frac{c-a}{b-a} = \frac{\pi}{2} \Leftrightarrow \frac{c-a}{|c-a|} \frac{|b-a|}{b-a} = i$$

とした方がいいときもある. 問題文により適当な等式を作ること. 上の解答の形は  $90^\circ, 270^\circ$  の両方を含んでいることに留意.

よって, 次の公式を導くことが可能になる.

★ 法線の方程式 直線 AB と垂直で, 点 C を通る直線上に点 Z がある  $\Leftrightarrow \frac{z-c}{b-a} + \frac{\bar{z}-\bar{c}}{\bar{b}-\bar{a}} = 0$

### 補足 ★ 平行四辺形 ABCD

定義「二組の対辺が平行」から「 $a-b=d-c$ 」を導こう.

二組の対辺が平行だから,  $\frac{d-c}{a-b}, \frac{a-d}{b-c}$  は正の実数. それぞれ  $p, q$  とする.

$$\frac{d-c}{a-b} = p \quad \text{かつ} \quad \frac{a-d}{b-c} = q$$

$d$  を消去して,  $(p-1)a + (q-p)b + (1-q)c = 0$

これが任意の  $a, b, c$  に対して成り立つから,  $p-1 = q-p = 1-q = 0 \Leftrightarrow p = q = 1$

$$\therefore \frac{d-c}{a-b} = 1 \Leftrightarrow a-b=d-c$$